

ガラテヤ書

イントロダクション | 「十字架につけられて」

私たちはどのような自分に価値を見出し、満足を覚えることができるでしょうか。聖書は、私たちの価値はどこにあると語っているのでしょうか。十字架の福音を語っているガラテヤ書を通して、ともに考えていきましょう。

聖書 | ガラテヤ書 2章 16-20 節

2:16 しかし、人は律法の行いによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。これは、律法の行いによってではなく、キリストを信じる信仰によって義と認められるためです。なぜなら、律法の行いによって義と認められる者は、ひとりもないからです。17 しかし、もし私たちが、キリストにあって義と認められることを求めながら、私たち自身も罪人であることがわかるのなら、キリストは罪の助成者なのでしょうか。そんなことは絶対にありえないことです。18 けれども、もし私が前に打ちこわしたものをもう一度建てるなら、私は自分自身を違反者にしてしまうのです。19 しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。20 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によって生きているのです。

考えましょう |

- 1: あなたは、どのような時に自分に価値を見出し、満足を覚えることができますか？逆にどのような時に自分に満足することができませんか？最近、そのような時があったなら分かち合しましょう。
- 2: ガラテヤ2章16節は「あなたの行いはあなたを義としない」と語っています。義とされないとは、神さまの前に価値ある者とされない、と言い換えられるでしょう。あなたの行いがあなたを義としない、あなたの価値を高めないということについてあなたは賛成しますか？反対しますか？その理由も含めて話し合みましょう。
- 3: パウロや他のユダヤ人たちは、神の律法（神の民としての生き方の指針）を表面的にはすべて守っていたようです。それなのに、彼らが律法の行いによって義とされなかったのはどうしてでしょうか。（参考 ピリピ 3:6, ガラテヤ 1:13-14）
- 4: パウロやユダヤ人たちは、自分に満足を覚えるために律法を守っていたようです。そんな自分を神さまの前に誇っていたかもしれません。みなさんは、「誇りたい！」という思いから何かをする、ということはあるですか？あるとすれば、それはどんなことですか？
- 5: 私たちが自分を誇りたい、自分の価値を高めたいという動機から善い行いをするのであれば、その善い行いは私たちを義とすることはありません。そんな私たちのために、キリストはご自身のいのちを投げ出されました。（パウロはガラテヤ2章20節でキリストのことを「私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子」と言っています。）私たちの価値は、このキリストの内にのみあります。あなたはキリストにある価値、キリストの愛を受け取っていますか？それをどのように受け取っていますか？

- 6: ガラテヤ 2 章 20 節「私はキリストとともに十字架につけられました。」とは、私に価値を与えるところの私が死んでしまった、という意味に解釈することができます。つまり、私は私に価値を与えられない、と認めるということです。キリストに与えられる価値にのみ頼って生きるということです。あなたは自分に価値を与えるような自分自身に死んでいるでしょうか？あるいは、そのような自分を十字架につけたいと思うのでしょうか？

読みましょう |

ピリピ 3 章 6 節（パウロの言葉）

その熱心は教会を迫害したほどで、律法による義についてならば非難されるところのない者です。

ガラテヤ 1 章 13-14 節

以前ユダヤ教徒であったころの私の行動は、あなたがたがすでに聞いているところです。私は激しく神の教会を迫害し、これを滅ぼそうとしました。また私は、自分と同族で同年輩の多くの者たちに比べ、はるかにユダヤ教に進んでおり、先祖からの伝承に人一倍熱心でした。

祈りましょう |

- ・ 私たちのために十字架についてよみがえられたキリストは、私たちを義と認めて最高の価値ある神の子としてくださいました。キリストとともに生きる喜びを感謝しつつ、大いなる救いの神をさ賛美しましょう。
- ・ キリスト以外のものから自分の究極的な価値を見出そうとしていることがあるなら、十字架のキリストの前に出て悔い改めましょう。キリスト以外に私たちの誇りとなるものはありませんし、それらの偶像はかえって私たちの人生を破たんさせるものです。

今週～来週のイベント

ランチタイムミーティング（14 九段下、15 丸の内、16 大手町）

お弁当プロジェクト（18）

礼拝 Worship & Fellowship（19）「利己的な仕事：仕事で名をあげるのがなぜ悪い！」

ランチタイムミーティング（21 赤坂、22 霞が関、23 大手町）

礼拝 Worship & Fellowship（26）「仕事の空しさ：空しい仕事は何のため？」

クラシック音楽&トーク（26 礼拝後）「なぜバッハ？ WHY BACH？」